

入院者訪問支援の意義と目的

はじめに

入院者訪問支援員の研修に求められること

■付帯決議※

十六、入院者訪問支援事業が、市町村長同意の医療保護入院者に限らず精神科病院に入院している全ての精神障害者の権利擁護のための**アドボケイトとして機能**するよう、**入院者訪問支援員の研修など事業の実施体制の整備**に万全を期すこと。



入院者訪問支援はアドボカシーの一端を担う

1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案に対する付帯決議 令和四年十二月八日 参議院厚生労働委員会

アドボカシーについて

「アドボカシー」と「アドボケイト」

■ アドボカシー (advocacy)

本来その人が持っている権利の行使がさまざまな理由で困難となっている状況において、その権利を擁護し、権利の行使を支援すること

■ アドボケイト (advocate)

アドボカシー（権利の擁護や権利の行使の支援など）のための活動を行う人

事業では「入院者訪問支援員」

advocacy = 平たく言うとto callやspeak out、
声をあげる



アドボカシーの一つのイメージ 声をマイクで大きくする

ケースアドボカシーとシステムアドボカシー

ケースアドボカシー

- 個別の当事者を対象に行う
- 対象の人の気持ちや意向を尊重することが大前提

「入院者訪問支援」はこちら

システムアドボカシー

- 集団やコミュニティを対象に行う
- 権利を守るために制度を作る、変える活動を伴う
- 精神科領域においては、入院している人全体や病院への働きかけ、精神保健医療福祉に係る制度を対象とした活動等

アドボカシーの6原則

■ここではイギリスなどのアドボカシー実践を参考にした子どもアドボカシーの領域での整理を紹介します。

■アドボカシーの6原則

1. 独立性
2. エンパワメント
3. 当事者主導
4. 守秘（秘密を守る）
5. 平等
6. 当事者参画

アドボカシーの6原則

1. 独立性
 - 当事者への意思決定機関やサービス提供機関から独立していて利害関係を持たない
 - 組織の方針や利害と利用者の希望が対立すると板挟みになる可能性がある
2. エンパワメント
 - 自分の言葉で意思を表明できるように支援する
 - その人本来の力を取り戻す過程である
 - 自信や自尊心を取り戻す過程でもある

アドボカシーの6原則

3. 当事者主導

- 中立の立場ではなく、本人の希望や意思に基づいて行動する
- 「当事者が運転席に座れるようにすること」 (N. Bateman)

4. 秘密を守る (守秘)

- プライバシーの尊重、当事者から聞いたことを他者に伝えない (信頼関係の前提)
- 虐待、暴力など生死に関わることは守秘義務の例外だが、慎重な扱いが求められる

アドボカシーの6原則

5. 平等

- すべての当事者が平等にアドボカシーにアクセスできること
- 言葉を話さない、意味を掴みづらい人でも、適切なコミュニケーション支援により、意思決定や意思表示を支援する

6. 当事者参画

- アドボカシーは常に当事者の参画を得て進める
- 実践以外にも助言、研修、スタッフの採用など運営に参画する

医療や福祉で発展したアドボカシー

- 医療や福祉ではアドボカシーの対象者が多く、背景が複数ある人が珍しくない
- 英国の例
 - アドボカシーを利用する権利が法律で保障
 - サービス提供機関から独立してアドボカシーを実践する専門的なトレーニングを受けたアドボケイトとアドボカシー提供機関が存在
 - Independent Mental Health Advocacy（精神障害）
 - Independent Mental Capacity Advocacy（知的障害や認知症）

アドボカシーの対象者の背景

アドボカシーの対象者の背景

- 意思決定が弱いと見なされ他者の庇護に置かれがちな人
子ども、障害者、高齢者など
- 特定の環境下での集団生活を過ごす人
入院者、児童福祉施設や障害者施設、老人ホームの入居者、矯正施設の入所者など
- (特に生存や健康への依存度が強い) ケアを他者に委ねざるを得ない人
医療的ケア児者など常時介護を受ける人、広くは患者など
- 強い支配下に置かれていたり、適切なケアを受けられていない人
虐待、DV、パワハラ、セクハラの実害者など
- 差別に晒されている人
LGBT、外国人、少数民族など

入院者訪問支援が必要とされる背景①

入院中の人は、意思決定能力が弱いと見なされやすく、ケアを他人に委ねざるを得ない

- 入院による医療が必要であり、自律的な意思決定ができない状態であれば、非自発的入院となる場合がある
- 入院中はケアの多くを病院職員に委ねることになる



入院者訪問支援が必要とされる背景②

特定の環境下で集団生活を送っている

- **医療提供上の必要性**：安全性や全体の規律が優先されるため、生活の時間や場所・持ち物に制約を受ける（他の例：学校、飛行機など）
- **閉鎖性**：構造上、病棟内（特に閉鎖病棟）や隔離室での様子は外部からは見えにくく、病院外の人と会う機会が乏しくなりがち
- **連続性**：特定の環境下で長く過ごすすと、入院者にとっても職員にとってもそれが当たり前になり、病院外の常識との乖離があっても気づきにくい



入院者訪問支援が必要とされる背景③

強い支配下に置かれていると感じる人もいる

- 精神保健福祉法で行動制限が認められている
- 治療場面においては、入院者は相対的に職員よりも弱い立場にある（職員が入院者にさまざまな配慮をしたとしても、職員は「行動制限をする側」の立場になる）

なんでも相談していいっていうけど、
つらい症状のことを話すと、入院が
のびるかもしれない...

私も隔離されるのかな...



入院者訪問支援が必要とされる背景④

その他、様々な理由で自分から声をあげづらい

- 職員への遠慮：病院職員が忙しそうで声をかけづらい、お世話になっているという遠慮など
- 情報へのアクセスが制限されることが多い：入院環境では持ち物制限などもあり、自分から情報にアクセスすることが困難になりがち
- あきらめ：話しても何も変わらないのではないかというあきらめ

さまざまな立場からの
アドボカシー

さまざまな立場からのアドボカシー

様々なアドボカシーの担い手が、ジグソーパズルのようにスクラムを組んで支援していくことにより、当事者の権利が守られる

フォーマルアドボカシー

- 担い手：専門職
(医療者、福祉職員、行政職員等)
- ・適切な療養環境の提供
 - ・情報提供
 - ・本人中心の医療、ケアの提供など

ピアアドボカシー

- 担い手：同じような属性をもつ仲間
- ・深い共感
 - ・経験知の共有など

セルフアドボカシー

- 担い手：家族、友人など
- ・本人への寄り添い
 - ・本人と一緒に専門職の話を聞く
 - ・本人の代理人的役割

- 担い手：アドボケイト (入院者訪問支援員) など

インフォーマルアドボカシー

独立アドボカシー

出典：Welsh Assembly Government, Consultation Document Delivering advocacy services for children and young people 0-25 in Wales (2011)

フォーマルアドボカシー

担い手

- 施設や病院、学校の職員など対人援助にかかわる人によるアドボカシー

例) 看護師、相談員、相談支援専門員、教員などの専門職

特徴

- 当事者の意見や思いを聞き、時に代弁し、思いを実現することは仕事の重要な一部
- 身近な職員が当事者の話を聴くことは身近で大事なアドボカシー

フォーマルアドボカシー

【うまく機能しない場合又はジレンマ】

- ご本人の希望より組織のルールや支援チームとしての合意が優先される場合

(例) 精神科病院に入院する当事者は週末に必要な品の購入がしたいため、外出希望を出しました。移動は車イスですが、自走することができます。しかし、安全確保のため職員同行での外出が必要とのルールがあり、職員から週明けの火曜日には同行できるので待つて欲しいと言われた。

インフォーマルアドボカシー

担い手

- 家族や親族、近隣住民など身近な人によるアドボカシー

特徴

- 介護が必要な時に、複雑な制度を本人だけでは理解できない場合に、子供が寄り添い話を一緒に聞いたり、本人の日頃の生活スタイルや本人の暮らしのイメージをケアマネージャーなどに伝えるなど
- 身近である強みがある

インフォーマルアドボカシー

【うまく機能しない場合又はジレンマ】

- 身近過ぎるがゆえに、本人の意向とは別に、家族などの意向が混在する場合

(例) 本人は治療して良くなれば元の一人暮らしの自宅に帰りたいという。本人が住み慣れた場所でイキイキと暮らしていけるように応援したいけど、今後のことも心配なので、グループホームなどに入居して欲しい。

ピアアドボカシー

担い手

- 同じような属性を持つ仲間によるアドボカシー。例) 障害者運動、患者会、労働組合

特徴

- 職場で過酷な長時間労働を求められたり、ハラスメントを受けた場合に、同僚や労働組合に相談するなど
- 同じ属性を持つ仲間ならではの、深い共感と経験知の共有、ロールモデルとの出会いなどの長所がある

ピアアドボカシー

【うまく機能しない場合又はジレンマ】

- 同じ属性であるため、自身の経験をもとに、本人が求めている提案や情報を提供してしまう場合

例) 引きこもりの経験があるピアアドボケイト。自身で情報収集をして外に出れるようになったという経験がある。同じように引きこもりが長年続いている方からの電話があり、ご本人からの要望はなかったが、良かれと思いご本人に自分の経験を基にした様々な情報提供を行う。

独立アドボカシー

担い手

- 本人や病院と利益が相反する立場ではない第三者が行うアドボカシー

特徴

- 本人の立場にたつ
- 本人の希望や意思に基づいて行動する。アドボケイトの価値観を押し付けない
- 本人の力を発揮できるように、力を奪わない。頼まれたことを実行する代理人や支援者とは異なる
- 本人のタイミングを尊重する。無理に本音や希望を引き出さない
- 本人にできない約束をしない

アドボカシージグソーの意味

- このように様々なアドボカシーが、ジグソーパズルのようにスクラムを組んで支援していくことにより当事者の意思表示や権利が保障される
- それぞれのアドボカシーの立場で、意見が異なることもあるが、皆で権利擁護を行っていくことが必要
- フォーマルアドボカシー、インフォーマルアドボカシー、ピアアドボカシーがあっても、様々な状況により、これらが機能しにくいこともあるため、独立アドボカシーが活用される

セルフアドボカシー

- もっとも身近なアドボカシーは自分自身
- セルフアドボカシーへの支援は自己決定への支援
- 当事者は無力で意思決定できない存在ではない
 - ・アドボケイトは「当事者は誰でも自分の好みを持ち、自分で考え、自分の意見をまとめ、発信できる」と信じて行動する
 - ・コミュニケーションや意思決定支援が重要

入院者訪問支援員が

アドボカシーで必要とされる姿勢や関わりとは？

アドボカシーで必要とされる 姿勢や関わり

アドボカシーで必要とされる姿勢や関わり

一人の人として尊重されること

- (具体的には)
- 安心できる場では人は話がしやすい
 - 集団の中の一人ではなく、一人の人として向き合うこと

第三者が関与すること

- (具体的には)
- 職員や家族には身近過ぎて、本音と言えないことがある
 - ルールがあり我慢してしまっている場合がある

形成 表明

意思形成・
表明の過程
を支える
姿勢

本人の側に立つ

- (具体的には)
- 本人の思いや考えに沿う
 - こちらの思い込み、価値観を押し付けない
 - 誰かが決めるのではなく、本人が考え、決定するという姿勢が必要

情報提供

- (具体的には)
- 情報は自分で自分の未来を選択するために欠かせない
 - 環境や能力に応じて情報提供するのではなく、すべて出す

アドボカシーで必要とされる姿勢や関わり①

一人の人として尊重されること

(具体的には)

- 安心できる場では人は話がしやすい
- 集団の中の一人ではなく、一人の人として向き合うこと

第三者が関与すること

(具体的には)

- 職員や家族には身近過ぎて、本音が言えないことがある
- ルールがあり我慢してしまっている場合がある

本人の側に立つ

(具体的には)

- 本人の思いや考えに沿う
- こちらの思い込み、価値観を押し付けない
- 誰かが決めるのではなく、本人が考え、決定するという姿勢が必要

情報提供

(具体的には)

- 情報は自分で自分の未来を選択するために欠かせない
- 環境や能力に応じて情報提供するのではなく、すべて出す

一人の人として尊重されること①

面会日程調整のある場面



水曜の午後のご都合
いかがですか？

その日はお風呂の日だけど、
早めにあがるようにするわ！

楽しみなのであれば、違う
お日にちにしませんか？

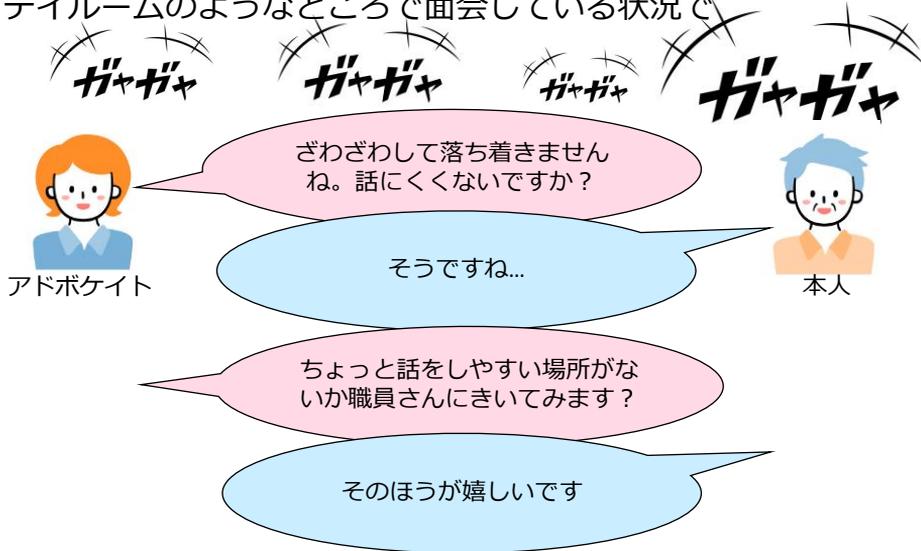
そのほうが助かるわ、
実はお風呂楽しみやねん



集団の中の一人ではなく、一人の人として向き合うこと

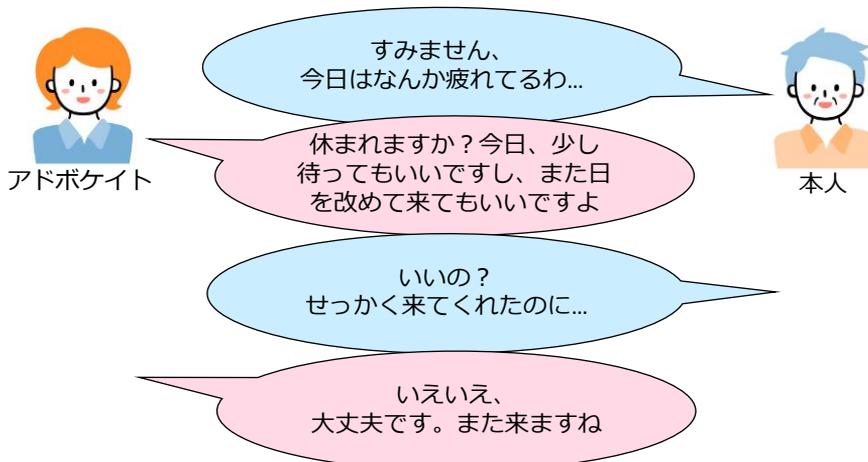
一人の人として尊重されること②

デイルームのようなところで面会している状況で



一人の人として尊重されること③

場所を移り、面会開始5分後。。。。



アドボカシーで必要とされる姿勢や関わり②

一人の人として尊重されること

(具体的には)

- 安心できる場では人は話がしやすい
- 集団の中の一人ではなく、一人の人として向き合うこと

第三者が関与すること

(具体的には)

- 職員や家族には身近過ぎて、本音が言えないことがある
- ルールがあり我慢してしまっている場合がある

本人の側に立つ

(具体的には)

- 本人の思いや考えに沿う
- こちらの思い込み、価値観を押し付けない
- 誰かが決めるのではなく、本人が考え、決定するという姿勢が必要

情報提供

(具体的には)

- 情報は自分で自分の未来を選択するために欠かせない
- 環境や能力に応じて情報提供するのではなく、すべて出す

第三者が関与すること①

忙しいそうだから、、、



アドボケイト

毎日髪の毛を洗いたいです。でも、お風呂は月・水・金の午後って決まってて、、

そうなんです。希望したらシャワーできるんじゃないですか？

なんか職員さん忙しそうだから、希望とかしていいのかな...

相談してみたらどうですか？

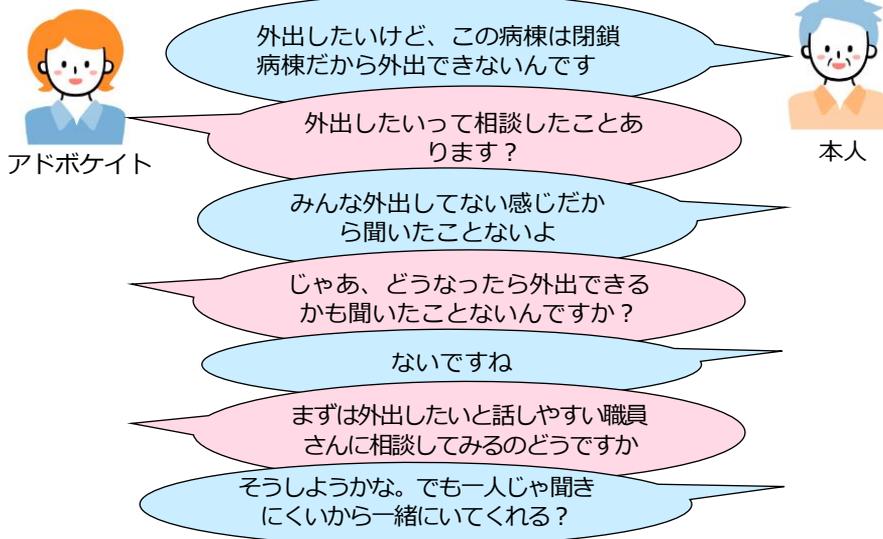
そうだな..聞いてみようかな



本人

第三者が関与すること②

ルールだから仕方がない、、、



アドボカシーで必要とされる姿勢や関わり③

一人の人として尊重されること

(具体的には)

- 安心できる場では人は話がしやすい
- 集団の中の一人ではなく、一人の人として向き合うこと

第三者が関与すること

(具体的には)

- 職員や家族には身近過ぎて、本音と言えないことがある
- ルールがあり我慢してしまっている場合がある

本人の側に立つ

(具体的には)

- 本人の思いや考えに沿う
- こちらの思い込み、価値観を押し付けない
- 誰かが決めるのではなく、本人が考え、決定するという姿勢が必要

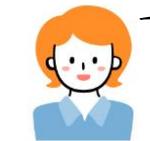
情報提供

(具体的には)

- 情報は自分で自分の未来を選択するために欠かせない
- 環境や能力に応じて情報提供するのではなく、すべて出す

本人の側に立つ

『想い』の大きさ



アドボケイト



本人

最近寒くなりましたね。

私は特に冷え性なので。
。。。本当はカーディガンを
手元にもちたいんです。。。

カーディガンはどこにあるんですか？

私物は全部 病院で気づかっても
らっていて、手元にもてないです

職員さんに相談してみますか？

はい、でもどう話しているのか。。。

じゃあ、どう伝えればいいのか
一緒に考えましょう

はい、お願いします

続き。。。こののち、もともとあまりお話をされない方が、主体的にご自身の希望を話してくださっています

アドボカシーで必要とされる姿勢や関わり④

一人の人として尊重されること

(具体的には)

- 安心できる場では人は話がしやすい
- 集団の中の一人ではなく、一人の人として向き合うこと

第三者が関与すること

(具体的には)

- 職員や家族には身近過ぎて、本音が言えないことがある
- ルールがあり我慢してしまっている場合がある

本人の側に立つ

(具体的には)

- 本人の思いや考えに沿う
- こちらの思い込み、価値観を押し付けない
- 誰かが決めるのではなく、本人が考え、決定するという姿勢が必要

情報提供

(具体的には)

- 情報は自分で自分の未来を選択するために欠かせない
- 環境や能力に応じて情報提供するのではなく、すべて出す

情報提供

誰に相談していいのか？



アドボケイト

退院したいんだけど、家もないし...退院する先がないんです。親もいないし。。

そのことを誰かに相談したことありますか？

誰も相談したらいいかわからなくて

相談員さんとか、看護師さんとか

相談員って？あ~他の人が話してたの、見かけたことはあるけど自分にはついてないんじゃないかな

病棟の掲示板にこの病棟の担当相談員さんの写真とお名前がありましたよ。声かけてみたらどうですか

あの人、自分も相談していいんだ。さっきも見かけたから、声かけてみようかな



本人

まとめ

まとめ

①アドボカシーについて

入院者訪問支援員はアドボカシーの一旦を担うこと / アドボカシーの6原則

②アドボカシーを必要とする背景

声が上げにくい環境や状況にある人が対象となること / 入院中の方も同様な背景を持つこと

③さまざまな立場からのアドボカシー

アドボカシージグソー / セルフアドボカシーを支える様々なアドボカシーがいること / うまく機能しないことがあり独立アドボカシーもピースの一旦を担う

④アドボカシーで必要とされる姿勢や関わり

一人の人として尊重すること / 第三者が関与すること / 本人の側に立つ / 情報提供